



### 第33回 中国政府が祝うチベット解放60周年の真実

2011年6月25日配信 [http://www.youtube.com/watch?v=AMlzc\\_L09D0](http://www.youtube.com/watch?v=AMlzc_L09D0)

本当に暑い日が続いております。みなさん元気に過ごされていることと思います。日本は天候が暑くて大変ですが、私の生まれ故郷のチベットにおいては、いわゆる北京政府のチベット占領、あるいは彼らが言う解放の60周年を迎えました。この60年間、チベット人にとっては大変な困難な60年間だったと思いますし、また北京政府にとっても決して楽ではなかったと思います。

あれから60年過ぎてても未だに北京政府はチベットを掌握し、そしてチベット支配しきっていないことも事実だと思います。例えば一例として今回この60周年を迎えるにあたって北京政府は当初大々的に、お祝いの行事をやると言っておりましたが実際のこの60周年の5月21日が近づくことにより緊張が高まり、結果的には外国の人たちを近づさせない方針を決めました。

また当初言われましたあまり大きな行事も出来てないように思います。それは何故かと言うとやっぱりチベットにおいては完全に中国がチベットの人たちの心まで支配するに至ってない、そのために様々な抵抗の動きがあるということでおそらく北京政府は特別に武装した警察など配置して治安維持にあっております。

もちろんその北京政府が発行している雑誌、新聞などを見るとこの60年間で輝かしい進歩があり、そして今チベットはまるで地上の楽園でもあるかのような記事を書いておりますけれど、しかし実際チベット人にとってはチベットが天国化されたのではなく、むしろ地獄化されたというふうに考えたほうがいいと思います。

もう一つ60年の間にむしろチベットでは北京政府の下で教育を受けた人たちが、この人たちが中核となって北京政府のチベット植民地支配に抵抗しているというのが現状だと思います。おそらく何か北京政府が良いことを言ったり、あるいはそのたくさんのお書物を出して世界にアピールしても、実際上のチベット支配においてチベット人自身が自国において二級市民化扱いを受けていることがチベットの人たちにとって大きな不満であり、また彼らが特に若い人たちが未だに自分たちの自由を求めその原動力にもなっていると思います。

日本の場合には今回震災などのことで報道されなかったと思いますけれど、北京政府は共産党の成立90年と合わせてかなり大規模のチベットの60周年を、チベットが中国の一部である既成事実を作るためにも力を入れていたように思います。だが、思い通りに行かなかったということは、ある意味でも中国も内部矛盾など抱えていて、そして相当神経を使っているということが感じられます。

一つの民族や国家が他によって占領され不当な支配をされるということの不便。そういうことをすね今チベット人が身を持って感じており、そしてそれは今我々の耐えられない暑さと同じくらいに彼らチベットの人たちにとってしんどい他国他民族の支配であるというふうに見えると思います。どうかもうちょっと、チベット問題についてもまた引き続き見守っていただければとお願いして、私のご報告を終わらせていただきます。

### ペマ・ギャルポ Pema Gyalpo

1953年、チベット生まれ。1978年、上智大学国際学部大学院中退。1980年、ダライ・ラマ法王アジア・太平洋地区担当初代代表。1997年、拓殖大学海外事情研究所客員教授。2001年、チベット仏教ニンマ派総宗門顧問。2005年、桐蔭横浜大学大学院法学研究科教授。



### 第1回 チベット問題の本質

2010年12月7日配信 <http://www.youtube.com/watch?v=CeWre9gzgTY>

今回から皆さんに日頃私が考えていること、あるいはチベット問題などについてお話しをさせていただきたいと思っております。今日はまず最初に「チベット問題の本質について」簡単に語りたくと思います。

幸いにして最近日本の国内においても、2008年北京オリンピックの聖火リレーの問題をきっかけにして多くの人たちが関心を持ち、そして今日支援をさせていただいております。もちろん支援をする方々にはそれぞれの立場で、それぞれのチベット問題に関する理解に基づいてやっていただいていると思いますけれども、一番大きいのはもちろん「人権、人権擁護」という立場から支援をさせていただいております。

しかしこのチベット問題は人権問題でもありますけれど、人権問題だとまだ各社会の中でも、あるいは場合によっては日本国内でも無いわけではありません。とくにチベット問題に関して言えば、その人権問題、そして「民族の自決権の問題」ということの側面もあることをぜひ知ってもらいたいと思います。

現在チベットは中華人民共和国によって甘肅省、雲南省、四川省、そして彼らが言う青海省、そしてチベット自治区という形で分割支配を受け、しかも自治とは名ばかりで事実上はかつての植民地の総督みたいに中華人民共和国の政府から派遣された共産党員が事実上支配をし、その背景にあるのは軍あるいはその軍勢力。「力」による支配であります。

現在もチベットでは1000人以上の人たちが獄中生活を送っております。そしてその彼らが獄中に入っているのは、決して人権の問題だけではなくて政治的な思想、祖国チベットの自由を求め人たちが、この人たちに対して北京政府側は分離主義者と一方的に決めております。

けれども、彼らが分離を主張しているのではなくて本来自分たちのものであったチベット、そこにチベット人が自らの自由意志によって、自分たちの将来を決め、自分たちの日常生活を、自分たちの価値観に基づいて生きたい、というごく当たり前の主張が侵略者から見ると分離主義者とレッテルを貼られ、そして今日も人々は昼間は私服の公安当局、夜は武装警察によって見張りを常につけられております。

そのような中において、チベットの人たちは現在もたくさんまだ政治犯としてチベットの中において「自分の国において他の民族によって刑務所に入れられている」ということ。本質的な問題はやはり、中国からチベットに侵略してきたのであってチベットが中国に挑発しとかそういうものではないです。

21世紀。世界中の植民地が解放された。あるいは中において逆に今でも「共産主義、そして社会主義の下でチベット、ウイグル、あるいは内モンゴルなどは残念ながら植民地支配を受けている」ということをぜひ皆さんに覚えていただいて、そしてそこにあるのは単なる人権問題ではなくて人々の民族自決権が今、侵されているということを知ってほしいと思います。

パンダはチベットの動物です！




**Panda is a Tibetan animal.**



ペマ・ギャルポのつぶやき

Youtubeで配信中です！更新情報はこちらにアクセス！  
<http://www.youtube.com/user/pemagyalpo2010/>  
[http://rfuj.net/pema\\_gyalpo/](http://rfuj.net/pema_gyalpo/)  
ペマさんへの質問はこちらまで [pema\\_gyalpo@rfuj.net](mailto:pema_gyalpo@rfuj.net)



Radio Free Uyghur Japan  
ラジオフリーウイグルジャパン  
<http://rfuj.net>



ASIAN FREEDOM NEWS JAPAN  
アジアフリーダムニュースジャパン  
<http://afnj.org>

